

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.54号> 2015年 8月17日 発行

## ごあいさつ

熱中症のニュースなど ものともせず  
気合の入ったスポーツの大会が各所で  
開かれ、元気を頂く 夏の盛りです。

さて8月15日、終戦記念日が巡っ  
参りました。先の大戦では、全世界の  
軍人・民間人合わせた犠牲者は8千万人  
とも言われています。その内 日本人戦没  
者は310万人。家族・親族の痛みや涙は  
計り知れません。

“一冊の本、一本のペンが世界を変える”と  
説いたのは、昨年ノーベル平和賞を受賞した  
17歳の少女、マララ・ユスフザイさんです。

内戦・貧困・無知等に苦しむ人々を救うのは  
軍事や暴力でなく、本やペンによって学ぶ機会  
を与える、つまりは教育の重要性を説いたもの  
です。正義とは何か？正しい選択とは如何なる  
ものか？自由に学び、自由に討議できる社会で  
在り続けることが、次世代を担う子ども達に  
“謝罪”の宿命を背負わせないことに繋がる、最  
たる手段ではないかと考える次第です。

振り返って、わがまち刈谷でも“日本一安全  
安心なまち”を目指し、新体制が発足しました。  
私も 仲間達と総力を挙げて取組んで参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



## 歳時記

8月 1日 (土) 八朔	夏休みも後半に入ると、季節の台頭が
5日 (水) 夏土用二の丑	そろそろ肌を感じられるようになります。
8日 (土) 立秋	暦が秋を迎えるだけでなく、緑も枯れ
15日 (土) お盆	色の葉、海には土用波が立ち、ゆく夏を
終戦記念日	惜しむようにクライマックスの花火大会
16日 (日) 京都五山送り火	納涼の盆踊りも。忘れ難い思い出を作り
23日 (日) 処暑	心新たに取組む 休み明けとしましょう。

# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



あれあれ？巨大なパイナップルが宙に浮かんで  
いるような？刈谷市だけでなく県内の子ども  
達に大人気のスポットです。  
さて、ここはどこでしょう？

7/1発行の<No.53>の答えは、西境町の  
水の館「アクアルームかりや」でした。  
生活の根幹を成す水体系が、いつ・どの  
ように整備されたかを 楽しく学べます。



## “風車”への招待☆

海風を受け、優雅な白い羽を広げ 今にも大空へ飛び立つ鷗さながらの風車。  
再生可能エネルギーの中で、コスト面でも化石燃料発電に近づき、そのクリ  
ーンさが注目され、近年では日本でも海辺近くに スッと佇む姿が見られます。

その先駆地オランダは、干拓によって国土を上げた国で、“世界は神が創っ  
たが、オランダはオランダ人が創った”という、自負を表す言葉がある程です。

自然の景観が乏しい平坦な土地には、北海からの強い風が吹き付け 風車に  
最適な環境ですが、かつてそのエネルギーで粉を挽いていたキンデルダイクの  
19基の優美な風車は、戦時下 敵の攻撃を伝える 合図にも使われました。

風車の羽の位置にそれぞれ暗号が隠され、人々は羽の位置によって 何の  
報せかを知ることが出来ました。その根元となる室内には 壁に銃口窓が幾つ  
も開けられ、牧歌的なその外観からは想像もつき難い 戦禍の跡が在ります。

戦後70年の節目となる今年ですが、風車がゆったりと風を集めることの  
出来る平和に感謝し、次世代には更なる技術革新が進み行くことを願います。

## 8月の行事予定

- 8月 3日 (月)・5日 (水) 議員懇談会
- 4日 (火) 行政評価委員会
- 6日 (木) 地方分権セミナー
- 10日 (月) 臨時議会
- 15日 (土) 刈谷わんさか祭り
- 29日 (土) 三河西地協議員懇談会
- 30日 (日) ユタカ議員協議会研修会

“まじめに  
コツコツ、即行動”  
頑張ります!!



# 7月のフットワーク

## 平成28年度予算編成に関する市民クラブ会派の要望を提出



刈谷に住みたい、住み続けたいと思う魅力あるまちづくりを目指し、人口増加に繋がる施策を重点に申入れ。

7月29日(水)  
市長に要望書提出

重点要望 3項目 40点  
その他 個別要望 27点

重点要望項目	要望点数
(1) すべての産業の持続的成長を促す施策	
① 企業誘致、投資促進、人材育成など企業体質強化への応援施策の推進	3
② 近隣市を巻き込んだ効率的な生産活動ができる道路整備の推進	3
③ 再生エネルギー分野など革新的な新事業への展開	4
(2) 刈谷の資源を有効活用したまちの魅力づくり施策	
① 人とエリア、エリアとエリアを有機的に結合させる施策の推進	5
② 若者が集まり、住みたくなる街づくり施策の推進	7
③ 刈谷の資源が有効に発信されるPR戦略の強化	3
(3) 全世代が安心して暮らせる環境づくり施策	
① 産・学・官の力を活かした防災、防犯、交通安全への施策の推進	7
② 少子高齢化課題の明確化と計画的な対策の推進	6
③ 障がい者が暮らしやすいしくみの確立	2
その他 個別要望	都市環境分野(12点) 教育文化分野(2点) 産業振興分野(1点) 福祉安全分野(10点) 計画推進分野(2点)

『人口減少時代の広域行政体制のあり方』セミナーに参加しました。



〔日時〕 8月6日(木) 〔場所〕 愛知芸術文化センター  
〔講師〕 中央大学教授 佐々木信夫氏

### ＜第1部 人口減少と行政対応＞

人口減少の状況(14年1月 総務省・国交省の予測)  
全国1,748市区町村の82%、1,440の自治体が人口減少しており、少子高齢化の進展で財政困窮 → 自治体消滅懸念が加速。

国の公債残高は1,000兆円を超えており、今後は公需による内需喚起でなく、地方分権を更に推し進め、地方が主体的に地域経済活性化策を行う人口減少対策が必要。

### ＜第2部 21世紀型の広域行政対応＞ 「日本型州構想」の実現

国の主導による垂直型統治政治システムの時代は終焉。変化は常に現場、迅速かつ柔軟に意思決定する仕組みが求められている。フラットなネットワーク型(水平型)統治システムへ転換し、税の無駄使い排除、行財政の効率化を図る大胆な構造改革が必要。

【所感】 刈谷市も年少および生産年齢人口とも減少傾向。将来の高齢化社会に対応する戦略として新たな産業誘致、次世代への福祉の充実を更に推し進め、社会の担い手を押し上げる人口対策の施策強化が必要。

## 刈谷市 平成27年8月 臨時議会 報告

〈会議日程〉  
8月10日(月)

8月の臨時議会は議会三役および各種委員会委員の選任が主な議題  
(役職任期は一年、毎年8月に改選が行なわれます)

### ★ 新しい議会三役

役職	議員名(会派名)
議長	前田 秀文(刈谷真政クラブ)
副議長	山崎 高晴(刈谷真政クラブ)
監査委員	黒川 智明(市民クラブ)

### ★ 私が所属する委員会

各種委員会	改選後	改選前
企画総務委員会		
福祉経済委員会		
建設水道委員会	○	
文教委員会		○
議員運営委員会		
議会広報委員会		○

### ★ 私が所属する会派「市民クラブ」の構成 (7月の選挙で1名減)

◎中嶋祥元(アイソ)	○鈴木浩二(ゲソ)
山内智彦(豊田織機)	黒川智明(ゲソ)
佐原充恭(トヨ紡織)	伊藤幸弘(トヨ車体)

◎：会派会長 ○：幹事長 ( )：出身会社

安心・快適な暮らしのまちづくりを目指し今後も頑張って参ります。

## ★★★ 市政ピックアップ ★★★

刈谷市行政評価委員会(外部評価)が開催されました。8月4日(金)



行政評価委員会は、第7次総合計画の進捗状況を外部の視点で評価するもので平成23年度に設置された。これまで、事務事業や基本施策の評価を行って来ましたが、今回は昨年度と同様、基本施策に対する小施策と小施策を構成する各事務事業を一体的に評価する内容でした。

【評価委員】 学識経験者・弁護士・公認会計士・企業代表者(計7名)で構成

【評価の視点】 小施策の項目(①②)に対し、小施策を構成する事務事業の成果が有効に機能しているかの視点で、成果指標の的確性や他市町村との比較および課題の妥当性など各委員より意見提案を受ける。

基本施策 (小施策の項目数)	今回取り上げた小施策項目	(小施策の事業数)
	小施策の事業項目	具体的な事業名
I 市街地・住環境 (4項目)	① 市街地の整備・改善	(12事業)
	・中心市街地の整備	東陽町地区優良建築物等整備事業など
	・基盤未整備地区の整備	小垣江駅東部土地区画整理事業など
II 次世代育成 ・子育て支援 (5項目)	② 幼稚園・保育園の整備・充実	(9事業)
	・園舎増改築・保育環境の整備	空調設備整備事業など
	・保育園の待機児童解消	保育園および幼稚園 園舎改修事業など

委員からは、今回は小施策でも数値目標を設定し、各事業のアウト・アウトの因果関係が追える形になっていた。今後も市民に分り易い説明責任を果たして欲しいとのコメント。